

# 第4学年 国語科 学習構想案

日 時 令和7年11月21日（金）第5校時  
 場 所 4年1組教室  
 指導者 教諭 永井 大成

## 1 単元構想

単元名	理由や例を挙げて、考えを書こう「もしものときにそなえよう」（光村図書「はばたき」p84～89）		
単元の目標	(1) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能] (2)ア (2) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1)ウ (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ②主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	①相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ②「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	①積極的に考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って、書こうとしている。
単元終了時の児童の姿			
自分の考えを支える理由や事例の関係を明確にしなが、伝える相手に合わせて文章を書き表そうとする児童			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
球磨村自主防災組織の方に向けて「わたしの防災提案書」を書こう		相手に自分の考えを伝えるための言葉の働きに着目し、相手や目的に応じて書き表すことを通して、言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画（10時間取扱い 本時5／10）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○自主防災組織について知り、単元を通した学習課題を捉え、提案書を書いてみる。 ○書いた文章を教科書と比較し、文章の組み立てを確かめる。 ○自分の課題を見つけ、学習計画を立てる。	★【態①】（ノート） ○学習の目的を理解し、見通しをもって主体的に学習に取り組もうとしている。 【知①】 【態①】
二	4	○自分の考えを支える理由や事例を探し始める。 ○自分の考えを支えるための情報を伝える相手に合わせて集める。（本時） ○「わたしの防災提案書」を書く。 ○友達と読み合って、伝わる文章になるように推敲する。	【知①】 ★【知①】（行動、発言） ○自分の考えに合った情報を、目的意識をもって集めている。 ★【思①】（ワークシート） ○考えと理由・事例のつながりを意識して構成している。 【知②】
三	3	○自主防災組織の方に向けて、どのように提案書を発表するか考える。 ○「わたしの防災提案書」の発表の練習をする。 ○「わたしの防災提案書」を発表し、感想をもらう。	【態①】 ★【態①】 ○伝える相手を意識して、工夫して発表している。 ★【態①】（ノート、発言） ○自分の学びや成長を、調べたことと結びつけて振り返っている。

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
小学校学習指導要領第3学年及び第4学年 [知識及び技能] (2)情報の扱い方に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] 「B書くこと」				
教材・題材の価値				
本教材は、自然災害の際にどのように備えておくのか自分の考えを書き、みんなに伝える単元である。自分の考えを明確に伝えるために、理由や事例との関係を明確にしながら文章の書き表し方を工夫する力を身に付けることに適している。				
本単元における系統(横軸を当該学年での他領域とのつながり、縦軸を他学年での同領域のつながり)				
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
<b>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 (R7標準学力調査)</b>				17人中
調査内容	正答(人)	誤答(人)	無答(人)	正答率(%)
相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。	17	0	0	100
書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えている。	15	2	0	88.2
自分の考えを明確にして、文章を書いている。	17	0	0	100
自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。	16	1	0	94.1
<b>■本単元の学習に関する意識の状況(人)</b>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
伝える相手を考えて、どんな情報が大切か考えながら調べていたと思う。	4	9	4	0
考えを伝えるとき、伝える相手のことを考えて伝えていたと思う。	4	9	4	0
調べた情報の出典をメモしたり確かめたりしていたと思う。	2	4	10	1
集めた情報から、自分に必要なものを選び取ろうとしていたと思う。	3	7	4	3
課題解決に向けて、自分で考え、積極的に取り組んでいると思う。	1	14	1	1
<b>■考察</b> (資質・能力に関して)児童は、自分の考えを明確にし、それを理由や事例と結び付けて書く力が身に付いている。文章の中心をとらえて構成を考えることも概ねできており、基礎的・基本的な力は身に付いている。今後も自分の考えを述べる際には、考えと理由のつながりを意識した指導を行っていきたい。 (学びに関して)課題解決に向けて主体的に取り組む姿は見られる。一方で、調べた情報の出典をメモしたり確かめたりすることが十分でなく、情報の取り扱いに課題がある。また、集めた情報を比べて必要なものを選び取ることも十分ではなく、相手意識や目的意識をもった情報収集になっていない。今後は、出典を明記することで著作権を尊重し、保護することにつながるなどの情報モラルなどについても指導を行う必要がある。相手意識をもち情報収集ができるように相手を明確にして学習を行う必要がある。				

## 3 指導に当たっての留意点

本校の校内研究のテーマは、『状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する児童生徒の育成』である。

【視点1】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て1: 単元配列表を作成し、各教科横断的な学びになる工夫

○社会科や総合的な学習の時間で学習した内容や資料を活用して、情報収集を行う。

手立て2: 子供が問いをもち、主体的に学ぼうとするための資料提示や課題設定の工夫

○単元を通した学習課題を「球磨村自主防災組織の方に向けてわたしの防災提案書を書こう」に設定し、相手を明確に明示することで相手意識をもった情報収集ができるようにする。

○2つのモデル文を提示し、理由の違いに気付かせることで問いを生み、相手意識をもった主体的な学びを促す。

手立て3: 子供が自らの意思で表現したり、行動したりする場の設定

○情報収集の手段を児童自ら選択し、情報を収集する計画を自ら立てて実行させる。

○情報をメモする際に、紙やタブレットなど何を使用するのか児童が自ら選べるようにする。

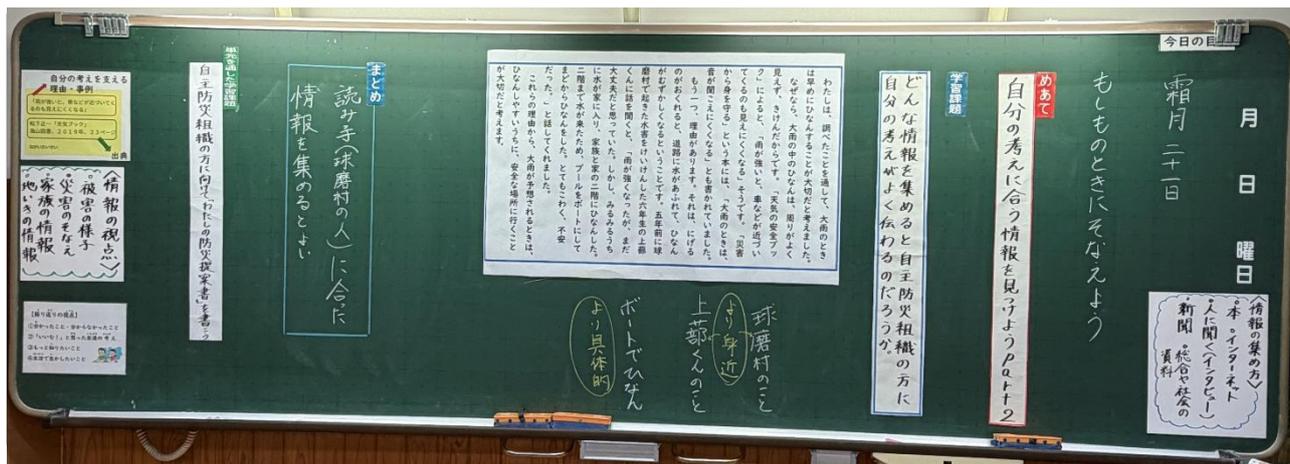
○他の児童が集めた情報をいつでも見られる状態にしておくことで、児童同士聞きに行ったり質問できたりするようにする。

4 本時の学習

- (1) 目標 自分の考えを支える情報を、伝える相手に合わせて集めることができる。  
 (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	7分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>①単元を通じた学習課題、めあてを確認する。</p> <p><b>【めあて】自分の考えに合う情報を見つけよう。Part 2</b></p> <p>②本時の学習課題をもつ。 ◇「先生」の方は、球磨村のことが書いてあるから球磨村に人には分かりやすいかも。</p> <p><b>【学習課題】</b> どんな情報を集めると球磨村自主防災組織の方に自分の考えがよく伝わるのだろうか。</p> <p>③どんな情報が必要なのか考える。 ◇球磨村の情報が必要なのか。 ◇他地域のことで参考になるかも。</p>	<p>○球磨村の人(自主防災組織の方)に伝えることを確認し、相手意識を高める。</p> <p>○教科書の文章と1ヵ所のみ変更した文章を比較することで、違いに着目し相手意識をもった情報収集へとつなげるようにする。</p> <p>○自分の考えを支えるためには、どんな情報が必要になるか考える。</p> <p>○球磨村の情報が必要だと思う児童も多いと考えられるが、相手のことを考えて一般的な情報を集めたいという意見も尊重する。</p>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>球磨村のことを調べる児童</p> <p>◇球磨村の地形について調べようかな。 ◇小川さんにインタビューしようかな。</p> <p>一般的なことを調べる児童</p> <p>◇球磨村に似た地域を調べようかな。 ◇もっと詳しく大雨のことについて調べようかな。</p> <p>②情報を集める。 ・調べた情報を付せんにもメモをする。 ◇この情報は、文章に書くときに使えそうだ。 ◇ここに書いてあることは、自分の考えに合っているな。</p> <p>(共通実践事項1)</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> 複数の情報の中から、自分の考えを支える理由や事例となるものを選び取っている。</p> <p>③友達と交流する。 ・どんなことを調べたのか、どんなことが分かったのか他者との対話を通して、ふり返る。 ◇インタビューで○○が分かった。 ◇○○を調べたから、考えがより伝わるようになった。</p> <p>(共通実践事項2)</p> <p>④本時をまとめる。</p> <p><b>【まとめ】</b> 読み手(球磨村の人)に合った情報があると伝わりやすい。</p>	<p>○メモは、付箋の色を分けておくことで、同時に分類できるようにする。 ・赤は被害の様子 ・青は災害への備え ・緑は家族の情報 ・紫は地域の情報</p> <p>○収集する内容を掲示し確認できるようにする。</p> <p>○情報収集の手段 ・小川自主防災組織組合長小川さんへのインタビュー ・本 ・インターネット ・社会や総合的な学習の時間の資料</p> <p>○情報収集で使うサイトはタブレット上で一覧化したものを提示する。 ・くまもとマイタイムライン ・身につく防災コンテンツ ・NHK for school ・国土地理院 ・防災手帳 ・東京海上日動 ・広報くまむら ・アーカイブ球磨村</p> <p>○タブレット上で付箋にメモすることで、他の児童のメモを容易に共有・参照でき、多様な考えに触れることができるようにする。</p> <p><b>【具体の評価規準】知①</b> ○自分の考えに合った情報を目的意識をもって集めている。 (方法：ノート・発言)</p> <p><b>【到達していない児童への手立て】</b> ○情報を選んだ理由を確認し、自分の考えとの関係に気付くことができるようにする。</p>
終末	8分	<p>3 振り返りをする。(共通実践事項3)</p> <p>①ゲスト(自主防災組織)の感想を聞く。 ②振り返りをする。 ◇今日集めた情報で、もっと伝わる文章を書きたい。 ◇自分の考えに合った情報を選ぶのが大切だ。</p>	<p>○小川さんに感想をもらうことで相手意識を高め今後の学習の意欲へつなげる。</p> <p>○振り返りでは、具体的な視点を与え、次時への学習意欲を高める。</p>

【板書計画】



【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

- ・ 情報収集のツールとして ICT を活用して情報収集を行う。
- ・ 収集した情報を ICT を活用し、タブレット上に記録していく。
- ・ 収集した情報をタブレット上で共有し、いつでも他の児童が書いたものを閲覧できるようにする。

【適用問題等の工夫】

単元の終末では、これまで身に付けたことを生かして次の学習に取り組む

【熊本県学力・学習状況調査】 令和6年度 大問6  
令和5年度 大問6